

甲賀圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第3回協議会 報告

日時：平成 27 年 3 月 25 日（水）10：00～12：00
場所：湖南市役所東庁舎 3 階 大会議室

本協議会は、甲賀圏域の 2 市（湖南市・甲賀市）が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づく助言を受けながら、野洲川、杣川、大戸川等の洪水被害や土石流危険渓流等からの流出土砂による被害を回避・軽減するための対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図ることを目的としています。

1. 開 会

会長の谷口湖南市副市長より平成 25 年の台風 18 号で得た経験を無駄にせず新たな取り組みにつなげていくことや日頃からそなえることが大切であり、当圏域の防災力向上のため活発な議論をお願いしたいとの、開会の挨拶をいただきました。



2. 主な議事

■事務局説明

(1) これまでの取組経緯

平成 22 年に協議会が組織されてから、協議会、担当者会議、防災情報WG、水害に強い地域づくり計画WG、土砂災害に強い地域づくり計画WGでの取り組みの概略について報告しました。

(2) 防災情報WG

危険箇所における防災情報の充実、わかりやすい表示指標の整備、避難勧告等の発令判断支援を図るためのこれまでの取り組みを報告しました。また、平成 25 年台風 18 号の経験を踏まえた課題を受けて、避難勧告等の発令判断支援資料(案)において、地先の安全度に応じた優先順位、想定避難人口と避難所収容可能人数、わかりやすい用語集等を作成更新したことを報告しました。

(3) 水害に強い地域づくり計画WG（三雲、黄瀬）

三雲地区では、これまでの取り組みについて報告し、今後の取り組みとして洪水到達時間の短い荒川において、雨量観測所データを用いた避難判断基準の検討、地域の知恵や水害リスクの見える化等を図っていくことを提案しました。

黄瀬地区では、平成 26 年度に実施した図上訓練や家屋の測量等について報告し、今後の取り組みとして、「そなえる対策」である水害リスクの見える化、避難計画の検討等、「とどめる対策」である浸水警戒区域の検討等を提案しました。

(4) 土砂災害に強い地域づくり計画WG（多羅尾、ハイウェイサイドタウン）

多羅尾地区では、これまでの取り組みについて報告し、今後の取り組みとして、防災訓練の実施、避難計画書等の更新、要配慮者対応に向けた福祉部局との連携等を提案しました。

ハイウェイサイドタウン地区では、本年度実施した防災マップや避難計画の素案作成について報告し、今後の取り組みとして、まち歩きや避難訓練を実施し、防災マップや避難計画の中身を検証していくことを提案しました。

■質疑応答・意見交換

各委員から様々な意見が出ました。以下に、主な意見を示します。

- ・簡易ではあるが水位計を設置することで、何らかの情報が得られるため、市の要望を踏まえて設置されたい。
- ・実際には現地へ行くことが困難である状況で、現地に居住している職員あるいはOBとかに通報いただく体制がとれればよいと考える。
- ・主に情報収集であれば、OBであったり、まちづくり協議会、区長といった方が担えると思う。ただし、台風 18 号の反省から見ると、例えば、信楽で相当訓練されたコントロールできる人を配置しないと情報が集まっても取捨選択できないと思う。訓練された職員が本庁だけではなくて、各支所にも配置できればと考える。
- ・情報伝達の訓練を実施している自治体がある。この訓練は行政だけでも可能であるため、一度、実施してみてもと思う。
- ・避難所収容可能人数と想定避難人数について、実際の運用段階における影響も検討されたい。
- ・ランク分けを、緑や水色等の安全であるように見える色ではなく、危険であることが感じられる色使いに変えてほしい。
- ・山の上まで一色で塗られている地区があるため、リスクの細分化と行政区の中でのリスクの高いところを今後は示してはどうか。
- ・発令単位である行政区の中でも、住民が住んでいるエリアとそうでないエリアがあるので、実際に発令すべきエリアを明示してはどうか。
- ・人的被害をなくすためには、地域の体制づくりに加えて、住民の意識啓発が重要である。そのためには、防災情報WGでの検討結果を水害に強い地域づくり計画WGに絡めていくことも必要と考える。
- ・気象台が発表する注意報、警報も、ある程度のリードタイムをとっているため、これらの防災気象情報も段階的に活用していただければと思う。

■まとめ

これらの意見を踏まえつつ、下記のとおり実施していくことになりました。

- ① 防災情報WGとして、簡易量水標の設置、簡易水位計の設置、避難勧告等の発令判断資料(案)の活用及び活用結果を踏まえた更新を進めていく。
- ② 水害に強い地域づくり計画WGとして、湖南省三雲地区では、洪水到達時間の短い荒川において、雨量を用いた避難判断基準について検討する。甲賀市黄瀬地区では、水害リスクの見える化、避難計画の検討、浸水警戒区域の検討等を実施する。
- ③ 土砂災害に強い地域づくり計画WGとして、甲賀市多羅尾地区では、防災訓練の実施、避難計画書の更新等を進める。湖南省ハイウェイサイドタウン地区では、まち歩きや避難訓練を実施し、防災マップや避難計画の中身を検証していく。

3. 情報提供

滋賀県防災危機管理局から「しが減災プロジェクト」、滋賀県流域治水政策室から「危険水位の設定要領等の改訂について」、滋賀県砂防課から「土砂災害防災法の改正及び今後の方針について」の情報提供を行いました。